

（１）調査の目的

こども・子育て施策に関する利用状況や就労実態、子育てに関する意見などを把握するために、「（仮称）流山市こども計画策定に関するニーズ調査」を、就学前のこども及び小学生のこどもの保護者を対象に調査を実施しました。

（２）実施内容

調査期間：令和6年6月3日（月）から令和6年6月21日（金）まで

調査方法：住民基本台帳からの無作為抽出で調査対象者を決定し、対象者に対し調査票を送付。

回答方法は郵送もしくはオンラインでの回答。

（３）実施結果

調査対象者	調査数	回答数	回答率
就学前のこどもの保護者	2,000件	1,219件 (郵送452件・オンライン767件)	61.0%
小学生のこどもの保護者	2,000件	1,225件 (郵送487件・オンライン738件)	61.3%

※参考 前回調査（平成30年度実施）※郵送回答のみ

調査対象者	調査数	回答数	回答率
就学前のこどもの保護者	2,000件	1,334件	66.7%
小学生のこどもの保護者	1,000件	659件	65.9%

（４）分析結果（案）

資料 2 - 1：（仮称）流山市こども計画策定に関するニーズ調査 報告書【概要版】（案）

資料 2 - 2：（仮称）流山市こども計画策定に関するニーズ調査 自由記述（抜粋）

「（仮称）流山市こども計画策定に関するニーズ調査」の結果について

（５）分析結果のポイント

1 こどもをみてもらえる親族・知人【就学前のこども票 問8・5ページ／小学生票 問8・56ページ】

- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前のこども票では62.5%、小学生票では55.2%。「いずれもない」は就学前のこどもでは24.4%となっており、前回調査から5.5ポイント上昇しています。また、小学生票では21.6%となっており、前回調査から6.7ポイント上昇しています。

2 現在の就労状況【就学前のこども票 問11・7ページ／小学生票 問11・58ページ】

- 保護者の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない」が就学前のこどもの母親では40.4%、父親では94.2%となっており、小学生の母親では39.6%、父親では93.2%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が、就学前のこどもの母親では22.6%、小学生の母親では21.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない」が就学前のこどもの母親では23.2%から17.2ポイント、小学生の母親では27.3%から12.3ポイント上昇しています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」が就学前のこどもの母親では37.0%から14.4ポイント低下しています。

3 平日の定期的なこどもを預かる施設・事業の利用状況

【就学前のこども票 問14、問14-1・12ページ、問15・18ページ】

- 就学前のこどもを預かる施設・事業を定期的に利用しているのは、全体で79.5%となっています。前回調査と比較すると、利用しているのは56.9%から22.6ポイント上昇しています。こどもの年齢別にみると、2歳児までは施設・事業を約20%が利用していませんが、3歳児以上では90%以上が利用しています。
- 現在利用している施設・事業は、「認可保育所」が61.9%で最も高く、次いで「幼稚園」が22.7%、「認定こども園」が7.3%となっています。前回調査と比較すると、「幼稚園」が33.6%から10.9ポイント低下しています。
- 定期的に利用したい施設・事業について、「認可保育所」が58.4%で最も高く、次いで「幼稚園＋定期的な預かり保育」が33.6%、「幼稚園」が30.2%、「認定こども園」が27.0%となっています。前回調査と比較すると、「幼稚園」が50.5%から20.3ポイント低下しています。

4 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向【就学前のこども票 問14-6・15ページ】

- 現在定期的に施設・事業を利用していない方のうち、「こども誰でも通園制度（仮称）」を「利用したい」のは65.6%、「利用したいと思わない」のは33.6%となっています。利用したい理由について、「同じ年頃のこどもたちと触れ合うことができる」が80.2%で最も高く、次いで「こどもの育ちや成長発達のため」が69.8%、「こどもが家族以外の人と関わることができる」が69.1%となっています。

「（仮称）流山市こども計画策定に関するニーズ調査」の結果について

（５）分析結果のポイント

５ 地域の子育て支援事業の利用状況【就学前のこども票 問１８・２２ページ、問２０Ａ・２４ページ】

- 地域子育て支援センター等の利用状況について、「児童館・児童センター」が17.0%で最も高く、「地域子育て支援センター」が9.5%、「市主催の子育てサロン」が1.6%となっています。また、「利用していない」は76.0%となっています。
- 地域子育て支援センター等を利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が54.3%で最も高く、次いで「利用するきっかけがない」が34.1%、「事業を知らない」が17.9%となっています。
- 子育て支援事業の認知度について、はい（知っている）が最も高いのは、市のホームページが85.7%となっており、次いで、健康増進課（保健センター）の情報・相談事業（育児相談・母子手帳交付時等）が76.5%、ハローベビィ（両親学級）、プレママパパ学級、離乳食教室、むし歯予防教室が75.6%となっています。一方で、認知度が３割に満たない事業もみられます。

６ 病気の際の対応

【就学前のこども票 問２２、問２２－１・２７ページ、問２２－２・２９ページ、問２２－４・３０ページ】

【小学生票 問２０、問２０－１・７５ページ、問２０－２・７７ページ、問２０－４・７８ページ】

- 就学前のこども票では、病気やケガによるこどもの施設・事業の欠席が「あった」のは84.2%となっています。
- そのうち、預かりサービス等が利用できなかった場合の対応について、就学前のこども票では「母親が休んだ」が80.3%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が57.0%、「（同居者を含む）親族・知人にこどもをみてもらった」が22.4%となっています。前回調査と比較すると、「（同居者を含む）親族・知人にこどもをみてもらった」が32.5%から10.1ポイント低下しています。
- また、こどもが病気の際に「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」のは43.8%、「利用したいとは思わない」のは55.5%となっています。
- 小学生票では、病気やケガによるこどもの学校の欠席が「あった」のは82.3%となっています。そのうち、預かりサービス等が利用できなかった場合の対応について、「母親が休んだ」が72.8%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が32.5%、「父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた」が22.4%となっています。
- また、「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」のは20.3%、「利用したいとは思わない」のは78.6%となっています。
- 就学前のこども票及び小学生票において、病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由の上位３つは、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」、「保護者が仕事を休んで対応する」、「利用手続きが面倒」となっています。

７ 一時預かり等の利用状況【就学前のこども票 問２３・３２ページ、問２３－１・３３ページ】

- 一時預かり等の事業のうち、利用しているのが最も多いのは、「幼稚園、認定こども園の預かり保育」、次いで「保育所の一時預かり」となっています。また、「利用していない」が85.4%となっています。一時預かり等を利用していない理由について、「特に利用する必要がない（ご自身の配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった等）」が60.9%で最も高く、次いで「利用手続きが面倒」が27.2%、「利用料がかかる・高い」が25.2%となっています。

「（仮称）流山市こども計画策定に関するニーズ調査」の結果について

（５）分析結果のポイント

８ 放課後のこどもの過ごし方

【就学前のこども票 問２６・３７ページ／小学生票 問１４・６２ページ、問１５－１・６９ページ】

- 就学前のこども票（こどもの年齢が５歳以上）では、小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所の希望について、小学校低学年では「学童クラブ」が67.0%で最も高く、次いで「習い事」が47.9%、「自宅」が42.3%となっています。小学校高学年では「習い事」が61.9%で最も高く、次いで「自宅」が53.1%、「学童クラブ」が49.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「学童クラブ」が小学校低学年では36.7%から30.3ポイント上昇し、小学校高学年では22.3%から27.2ポイント上昇しています。
- 小学生票では、こどもが放課後に過ごしている場所について、小学校低学年では「自宅」が60.4%で最も高く、次いで「習い事」が51.8%、「学童クラブ」が45.8%となっています。小学校高学年では「自宅」が85.2%で最も高く、次いで「習い事」が69.2%、「部活動」が13.5%となっています。また、こどもを放課後に過ごさせたい場所について、小学校低学年では「習い事」が71.7%で最も高く、次いで「自宅」が60.4%、「学童クラブ」が52.2%となっています。小学校高学年では、「自宅」が74.7%で最も高く、次いで「習い事」が72.7%、「部活動」が29.1%となっています。
- 小学生票で、学童クラブ以外の「放課後のこどもの居場所」が身近にある場合の利用意向について、「利用したいと思う」「多少利用したいと思う」が合わせて84.8%となっています。

９ 土曜日・日曜日、長期休暇中の学童クラブの利用意向

【小学生票 問１６・７０ページ、問１７、問１７－１・７１ページ】

- 土曜日／日曜日・祝日の学童クラブの利用意向について、「月に１～２回は利用したい」が土曜日は12.0%、日曜日・祝日は6.6%となっています。
- 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童クラブの利用意向について、「休みの期間中、週に数日利用したい」が31.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が27.8%となっています。週に数日利用したい理由について、「週に数回仕事が入るため」が60.4%で最も高くなっています。

１０ 育児休業の利用状況【就学前のこども票 問２８・４１ページ、問２８－７・４５ページ】

- 育児休業の取得状況について、「取得した（取得中である）」のは母親が67.6%、父親が26.4%となっています。前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」のは母親が49.4%から18.2ポイント、父親が5.5%から20.9ポイント上昇しています。
- 育児休業を取得していない理由について、母親では「仕事が忙しかった」が22.1%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が17.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が16.2%となっています。父親では「仕事が忙しかった」が50.4%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が39.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が32.8%となっています。

「（仮称）流山市こども計画策定に関するニーズ調査」の結果について

（５）分析結果のポイント

１１ 理想の人数のこどもを育てるために必要な支援

【就学前のこども票 問２９・４６ページ／小学生票 問２４・８５ページ】

- 就学前のこども票では、今後こどもをもちたい人数について、「今以上こどもをもちたいと思わない」は50.5%と最も高く、次いで「１人」が36.6%となっています。また、小学生票では「今以上こどもをもちたいと思わない」が76.9%と最も高く、次いで「１人」が16.0%となっています。
- これからこどもをもつために必要と思われる支援・条件は、就学前のこども票では「子育て家庭の経済的な負担への支援」が86.7%で最も高く、次いで「子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進」が40.9%、「妊娠・出産・育児に係る負担や不安を和らげる支援」が37.3%となっています。小学生票では「子育て家庭の経済的な負担への支援」が82.4%で最も高く、次いで「子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進」が42.3%、「妊娠・出産・育児に係る負担や不安を和らげる支援」が26.4%となっています。

１２ 流山市における子育ての環境や支援

【就学前のこども票 問３３・５０ページ、問３３－１、問３３－２・５１ページ】

【小学生票 問２６・８７ページ、問２６－１、問２６－２・８８ページ】

- 流山市は子育てしやすい街だと思う割合について、就学前のこども票では４及び５（子育てしやすい）を合わせた割合は55.4%となっており、前回調査と比較すると、32.7%から22.7ポイント上昇しています。小学生票では４及び５（子育てしやすい）を合わせた割合は45.8%となっており、前回調査と比較すると、30.2%から15.6ポイント上昇しています。
- 子育てしづらいと思う理由について、就学前のこども票では「医療機関が十分でない」が60.6%で最も高く、「公園などこどもの遊び場が少ない」が43.9%、「小中学校の教育が心配」が40.4%となっており、小学生票では「医療機関が十分でない」が59.5%で最も高く、「小中学校の教育が心配」が54.2%、「公園などこどもの遊び場が少ない」が43.9%となっています。
- 子育てしやすいと思う理由について、就学前のこども票では「保育所などの施設数が充実している」が69.6%で最も高く、「公園などこどもの遊び場が多い」が63.4%、「自然環境が良い」が53.8%となっており、小学生票では「自然環境が良い」が52.8%で最も高く、「交通機関が便利」が51.7%、「保育所などの施設数が充実している」が49.2%となっています。